OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	岡島昭浩教授略歴・業績目録
Author(s)	
Citation	語文. 2026, 124-125, p. 70-77
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/103852
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

岡島昭浩教授略歴

〈学歴〉

一九七九年三月　福岡県立福岡高等学校卒業
一九八三年三月　九州大学文学部文学科（国語学国文学専攻）卒業
一九八六年三月　九州大学大学院文学研究科修士課程（国語学国文学専攻）修了
一九八七年三月　九州大学大学院文学研究科博士後期課程（国語学国文学専攻）中退

〈職歴〉

一九八七年四月　九州大学助手（文学部国語学国文学講座）
一九八九年四月　京都府立大学女子短期大学部講師
一九九二年四月　京都府立大学女子短期大学部助教授
一九九五年四月　福井大学助教授（教育学部・国語科）（二〇〇〇年四月より教育地域科学部・言語教育講座）
二〇〇二年四月　大阪大学助教授（併任）（文学研究科国文学・東洋文学講座）
二〇〇二年一〇月　大阪大学助教授（文学研究科国文学・東洋文学講座）（二〇〇七年四月より准教授）
二〇一〇年四月　大阪大学教授（文学研究科国文学・東洋文学講座）（二〇二二年四月より人文学研究科日本文学・日本語史学講座）
二〇二六年三月　大阪大学定年退職

〈非常勤講師歴〉

中村学園短期大学、九州大学医療技術短期大学部、福岡教育大学、京都府立医科大学医療技術短期大学部、花園大学、甲南

女子大学、姫路獨協大学、岡山大学、京都府立大学、京都大学、九州大学、京都産業大学

〈学会等役員〉

日本語学会　大会企画運営委員、情報電子化委員、電子情報委員、常任査読委員、評議員、広報委員（委員長）
訓点語学会　委員
国語語彙史研究会　幹事、庶務主任
国立国語研究所　共同研究員、外部評価委員
国文学研究資料館　資料調査員
懐徳堂記念会　理事、事務局長

岡島昭浩教授業績目録

〈著書〉

（共著）『日本語源大辞典』前田富祺監修　二〇〇五年四月　小学館
（共著）『シリーズ日本語史2　語彙史』　二〇〇九年一一月　岩波書店

〈論文〉

元禄時代に於ける字音M尾N尾の発見―中村惕斎の「韻学私言」―　一九八六年九月　『文献探究』一八　文献探究の会
近世唐音の重層性　一九八七年六月　『語文研究』六三　九州大学国語国文学会
元禄期の字音仮名遣の一例―中根元圭序『筌蹄集』のワ行仮名と唇音韻尾―　一九八七年九月　『文献探究』二〇　文献探究の会
文雄におけるムとン―『磨光韻鏡』華音の十七転十九転ム表記の意味―　一九八八年二月　『文学研究』八五　九州大学国語国文学会
『はまおぎ』解題　一九八九年二月　奥村三雄（編）『九州方言の史的研究』桜楓社
指微韻鏡私抄略の刊本―寛文九年刊『韻鏡秘伝抄』―　一九八九年六月　『奥村三雄先生退官記念国語学論叢』桜楓社
唐音語存疑　一九九〇年三月　『文献探究』二五　文献探究の会
近世唐音の清濁　一九九二年三月　『訓点語と訓点資料』八八　訓点語学会
武家共通語と謡曲　一九九六年一月　『雅俗』三　雅俗の会
漢語資料としての詩学書―『詩語砕金』を例として―　一九九九年六月　『語文研究』八六・八七　九州大学国語国文学会
（共著）『西国立志編』の漢語―左傍訓を有する漢字語彙とその索引―　二〇〇〇年一二月　『福井大学教育地域科学部紀要 第Ⅰ部 人文科学 国語学・国文学・中国語学編』五一　福井大学教育地域科学部
（共著）『西国立志編』の漢字語彙―英語片仮名表記を有する漢字語彙とその索引―

江戸期韻学における『音韻日月燈』　二〇〇一年三月　『国語国文学』四〇　福井大学

元禄の辞書　二〇〇一年三月　高田時雄（編）『明清時代の音韻学』　京都大学人文科学研究所

半濁音名義考　二〇〇一年四月　井上敏幸・上野洋三・西田耕三（編）『元禄文学を学ぶ人のために』　世界思想社

「言海採収語…類別表」再読　二〇〇一年四月　迫野虔徳（編）『筑紫語学論叢』　風間書房

大矢透以前の大為爾　二〇〇三年三月　『国語語彙史の研究二十二』　和泉書院

大矢透以前の史的五十音図研究　二〇〇三年一一月　『国語文字史の研究七』　和泉書院

『俚言集覧』『増補俚言集覧』における『今昔物語』からの引用について　二〇〇四年六月　『語文』八二　大阪大学国語国文学会

『今昔物語集』の「東烏」と「東雁」―『俚言集覧』・芥川龍之介「偸盗」・方言意識史の中で―　二〇〇六年五月　筑紫国語学談話会（編）『筑紫語学論叢Ⅱ』　風間書房

〈五音歌〉の変容―外郎売りと姓名判断―　二〇〇六年一二月　『待兼山論叢　文学篇』四〇　大阪大学文学会

出典未詳の四字熟語「屍山血河」　二〇〇八年三月　飯倉洋一（編）『テクストの生成と変容』　大阪大学大学院文学研究科

寺尾東海の韻学と荻生徂徠　二〇一〇年三月　『国語語彙史の研究二十九』　和泉書院

近世語学〝軽重〟義　二〇一〇年三月　『語文』九二・九三　大阪大学国語国文学会

「肩がこる」　二〇一〇年九月　釘貫亨・宮地朝子（編）『ことばに向かう日本の学知　名古屋大学グローバルCOEプログラム』　ひつじ書房

ウェブ検索の応用　二〇一一年三月　『国語語彙史の研究三十』　和泉書院

二〇一一年七月　荻野綱男・田野村忠温（編）『講座ＩＴと日

明治中期の回覧雑誌「共究会文章会」附 魚住折蘆・和辻哲郎遺文　二〇一四年三月
『韻鏡安見録』と『韻鏡反切名乗即鑑』　二〇一四年六月
「ひいやり・ふうわり」型から「ひんやり・ふんわり」型へ　二〇一六年三月
西郷隆盛はどう語らせられてきたか　二〇一九年一二月
大正時代の菊池方言資料『言葉の栞』　二〇二〇年三月
昭和初期、福岡県直方の方言矯正書二種　二〇二一年三月
近代語資料としての『史談会速記録』　二〇二一年一一月
人名に使われる漢字の用法の変化について―一字一音（一字一拍）の読みを中心に―　二〇二三年一二月

〈書評・解説〉

〔書評〕湯沢質幸著『唐音の研究』　一九八九年九月
書評　国立国語研究所編『太陽コーパス 雑誌『太陽』日本語データベース』、『雑誌『太陽』による確立期現代語の研究『太陽コーパス』研究論文集』　二〇〇六年一〇月
（解説）言語からみた近世文化　二〇〇七年七月

本語研究6コーパスとしてのウェブ』　明治書院
『大阪大学大学院文学研究科紀要』五四　大阪大学大学院文学研究科
『語文』一〇二　大阪大学国語国文学会
『国語語彙史の研究三十六』　和泉書院
『語文』一一三　大阪大学国語国文学会
『坂口至先生退職記念日本語論集』　創想社
筑紫日本語研究会（編）『筑紫語学論叢Ⅲ―日本語の構造と変化―』　風間書房
田中牧郎・橋本行洋・小木曽智信（編）『コーパスによる日本語研究　近代編』　ひつじ書房
『語文』一一一　大阪大学国語国文学会
『国語学』一五八　国語学会
『日本語科学』二〇　国立国語研究所
亀井孝・大藤時彦・山田俊雄（編）『日本語の歴史5 近代語の流れ』（復刊）　平凡社

〔書評〕釘貫亨著『近世仮名遣い論の研究―五十音図と古代日本語音声の発見―』　二〇一〇年一月　『日本語の研究』六―一　日本語学会

解説　二〇一三年五月　松本修『どんくさいおかんがキレるみたいな。方言が標準語になるまで』新潮文庫

書評　大木一夫著『ガイドブック日本語史』　二〇一四年一一月　『歴史言語学』三　日本歴史言語学会

解説　二〇一八年一月　井上ひさし『新版 国語元年』新潮社

〈学会時評〉

研究資料（史的研究）（〈特集〉２００４年・２００５年における日本語学界の展望）　二〇〇六年七月　『日本語の研究』二―三　日本語学会

研究史（〈特集〉２０１０年・２０１１年における日本語学界の展望）　二〇一二年七月　『日本語の研究』八―三　日本語学会

〈辞典・事典類〉

声母・韻字・韻尾・韻脚・韻母・韻目表・畳韻・通韻・押韻・二百六韻・平水韻・三十六字母・「漢字三音考」・「字音仮字用例」・「漢呉音図」　一九九六年一月　佐藤喜代治（編）『漢字百科事典』明治書院

「筑紫方言」・「浜荻（筑紫）」・「菊池俗言考」　二〇〇七年一月　飛田良文ほか（編）『日本語学研究事典』明治書院

岡井慎吾・韻学・圏発・字訓・字典　二〇〇九年五月　前田富祺・阿辻哲次（編）『漢字キーワード事典』朝倉書店

「音韻日月燈」・「音韻断」・「漢呉音図」・「浜荻（筑紫）」・江村北海・太田全齋・岡島冠山　二〇一四年一一月　佐藤武義・前田富祺（編）『日本語大事典』朝倉書店

「於乎軽重義」・太田全斎・大矢透・「漢字三音考」・「傭字例」　二〇一八年一〇月　日本語学会（編）『日本語学大辞典』東京堂

語種・和語・漢語・外来語・混種語・語彙の変化	二〇二四年七月	出版
		金水敏（編）『よくわかる日本語学』 ミネルヴァ書房
〈その他〉		
旧仮名遣変換について	一九九一年一二月	『情報処理語学文学研究会会報』一〇 情報処理語学文学研究会
人文系ｗｗｗページの試み	一九九七年二月	『福井大学情報処理センターニュース NETWORK』一〇―四 福井大学情報処理センター
インターネットで調べる（特集・ことばを調べる）	一九九七年一〇月	『日本語学』一六―一二 明治書院
日本語研究におけるインターネット利用の現状について	一九九七年一二月	『人文学と情報処理』一五 勉誠社
文学研究者の情報発信	一九九八年一月	『本とコンピュータ』三 トランスアート
インターネット言語学情報（26）ことば遊びと遊びのことば	二〇〇〇年二月	『言語』二九―二 大修館書店
インターネット言語学情報（29）書く	二〇〇〇年五月	『言語』二九―五 大修館書店
インターネット言語学情報（32）日本語学史と資料の複製	二〇〇〇年八月	『言語』二九―八 大修館書店
インターネット言語学情報（35）ＪＩＳ漢字の第３・第４水準	二〇〇〇年一一月	『言語』二九―一一 大修館書店
インターネット言語学情報（38）論文データと学会ページ複製本と電子化	二〇〇一年二月	『言語』三〇―二 大修館書店
インターネット言語学情報（41）辞書・検索	二〇〇一年三月	『かりん』三二 福井大学附属図書館
インターネット言語学情報（44）聞く	二〇〇一年五月	『言語』三〇―五 大修館書店
インターネット言語学情報（47）日本語で……	二〇〇一年八月	『言語』三〇―八 大修館書店
	二〇〇一年一一月	『言語』三〇―一一 大修館書店

日本語学とインターネットの使い方（特集・今どきの日本語学入門）　二〇〇五年四月　『日本語学』二四―四　明治書院

「漢字文化圏」とは　二〇〇六年三月　『2004-2005年度大阪大学大学院文学研究科共同研究報告書　台湾における日本文学・国語学の新たな可能性』

「積ん読」の語誌　二〇〇八年一二月　南陀楼綾繁＆積ん読フレンズ『山からお宝本を積まずにはいられない人のために』けものみち計画

私が勧めるこの一冊（第21回）『近世的表現』中村幸彦【著】　二〇一一年一月　『日本語学』三〇―一　明治書院

（共著）電子化が望まれる近代語資料探索―日本語史を研究する大学院生の報告から―　二〇一二年一〇月　『近代語コーパス設計のための文献言語研究成果報告書』国立国語研究所

（共著）近代語コーパスの構築と活用に向けて（日本語学会２０１２年度秋季大会ワークショップ発表要旨）　二〇一三年四月　『日本語の研究』九―二　日本語学会

（共著）イロハ韻の展開（日本語学会２０１４年度秋季大会研究発表会発表要旨）　二〇一四年一〇月　『日本語の研究』一一―二　日本語学会

韓国国立中央図書館所蔵の日本古典籍―善本解題【国語学】　二〇一五年五月　大高洋司・陳捷（編）『日韓の書誌学と古典籍』勉誠出版

（共著）日本語の先端的な動向の解明と、そのための新しい資料論（日本語学会２０１８年度秋季大会シンポジウム報告）　二〇一九年四月　『日本語の研究』一五―一　日本語学会

（共著）近代の作文資料　二〇一九年五月　いちょう祭展示会・展示目録・解説

訓点資料研究に期待すること　語彙史研究の立場から　二〇二一年三月　『訓点語と訓点資料』一四六　訓点語学会

雑録　懐徳堂の登場する小説など　二〇二五年一月　『懐徳』九三　懐徳堂記念会